JLTAV 2024 Practice Exam Number 1 – Transcripts and Sample Answers

This marking guide contains:

- Suggested answers for each question
- Suggested marks for each question
- Sample responses for the writing tasks

Note: This marking guide has not been endorsed by the VCAA. Words and phrases in brackets are optional in student responses.

SECTION 1 (Part A: Listening and responding in English) TEXT 1

 すン さおりさん、オーストラリアへの留学の体験はどう? さおり ケンくん、楽しいよ。色々習っているよ。ホームシックじゃないけど、母の料理が懐かしい。 ケン そう? さおり オーストラリアの食事はすごくおいしい。でも、日本の食事が食べたい。先週ホストファミリーと日本食レストランに行ったけど、本物の日本料理じゃなかった。 ケン 残念だね。その他に何かある? さかれた 残念だね。その他に何かある? さかれた 現までずっと話しているから、いい練習になる。でも、毎日 頑張らないといけなくて、すごく疲れる。学校でケンくんと日本語で話せるけど、ホストファンリートは日本語が話せないから、サンベル
ケンくん、楽しいよ。色々習っているよ。ホームシックじゃないけど、母の料理が懐かしい。 ケン そう? さおり オーストラリアの食事はすごくおいしい。でも、日本の食事が食べたい。先週ホストファミリーと日本食レストランに行ったけど、本物の日本料理じゃなかった。 ケン 残念だね。その他に何かある? オーストラリアにいる間に、英語でずっと話しているから、いい練習になる。でも、毎日がかまがある。からないといけなくて、すごく疲れる。学校でケンくんと日本語で話せるけど、ホスト
い。
さおり オーストラリアの食事はすごくおいしい。でも、日本の食事が食べたい。先週ホストファミリーと日本食レストランに行ったけど、本物の日本料理じゃなかった。 ケン 残念だね。その他に何かある? オーストラリアにいる間に、英語でずっと話しているから、いい練習になる。でも、毎日 頑張らないといけなくて、すごく疲れる。学校でケンくんと日本語で話せるけど、ホスト
まリーと日本食レストランに行ったけど、本物の日本料理じゃなかった。 ケン 残念だね。その他に何かある? さおり オーストラリアにいる間に、英語でずっと話しているから、いい練習になる。でも、毎日で張らないといけなくて、すごく疲れる。学校でケンくんと日本語で話せるけど、ホストをたいへん
ケン残念だね。その他に何かある?さおりオーストラリアにいる間に、英語でずっと話しているから、いい練習になる。でも、毎日
ケン残念だね。その他に何かある?さおりオーストラリアにいる間に、英語でずっと話しているから、いい練習になる。でも、毎日
さおり オーストラリアにいる間に、英語でずっと話しているから、いい練習になる。でも、毎日
頑張らないといけなくて、すごく疲れる。学校でケンくんと日本語で話せるけど、ホスト
たいへん
コーンル しょり 大きがばせたいから 一十本
ファミリーとは日本語が話せないから、大変。
「ケン そうだね。僕も日本で同じだった。ホストファミリーは田舎に住んでいて、誰も英語が言
せなかった。でも、さおりさんは英語がすごく上手になったね。
「さおり」 ありがとう、ケンくん。もう一つ懐かしいのは日本の文化だよ。弟と日本の伝統的な遊
びをすることが好きなの。
ケン へえ、そうなんだ。そういえば、一緒にメルボルンにある日本祭りに行かない?祭りで
色々な体験ができるから、いいと思うよ。
さおり そう?いつ?
ケン 来週の土曜日と日曜日。生徒だったら、チケットは三ドルだけで、安いよ。
「さおり しわああ。いいなあ。
ケン 去年、僕は大好きなお好み焼きを食べて、日本で食べたお好み焼きのようだった。そ
して、お店で働いてる人はみんな日本人で、一日中日本語で話したよ。日本の遊び
が好きだったら、子供のコーナで子供たちと日本の伝統的なゲームをすることもできた
よ。だから、去年、二時間ぐらい日本人の子供たちとけん玉をやってみた。僕は下手 だったけど、楽しかった。
さおり へえ、楽しそう。安いから、土曜日も日曜日も一緒に行こう。
ケン 土曜日も日曜日も行きたいけど、土曜日の朝に日本語のクラスに行かなければなら
ないから、日曜日だけはどう?
さおりじゃ、そうしよう。楽しみにしてるね。

Question 1 (10 marks)

	Questions	Answers	Marks
a.	What is Saori's main problem with her exchange in Australia?	She misses Japan.	1
b.	What three ways can the Japanese festival in Melbourne solve her problems according to Ken? What evidence does he provide from his visit last year?	 There's Japanese food. The okonomiyaki ken ate last year was like the one he had in Japan. (2 marks) The people working at the shops are all Japanese. Ken was able to speak Japanese all day last year. (2 marks) You can play traditional Japanese games. Last year Ken played kendama for about 2 hours with Japanese children. (2 marks) 	6
c.	When does Saori want to go to the festival and why?	 Saturday and Sunday (1 mark) because the tickets are cheap for students (1 mark) 	2
	When have they decided to go?	• Sunday (1 mark)	1

SECTION 1 (Part B: Listening and responding in Japanese)

TEXT 2

みなさん、こんにちは。私の名前はケイトです。今、日本に留学していて、先週初めてカプセルホテルに泊まって、本当に面白いと思いました。だから、今日は、カプセルホテルについて話したいと思います。

カプセルホテルの部屋は一つ一つ小さな箱のようでした。部屋に入った時、狭いと思いましたが、すぐ慣れました。中にはベッドがあって、タブレットと小さいテレビもありました。でも、部屋にはドアがなくて、びっくりしました。その代わりに、カーテンのような物がありました。財布や携帯電話などをロッカーに入れることができて、安心しました。

た達によると、温泉が付いているカプセルホテルが一番人気らしいです。だから、このカプセルホテルに泊まって、温泉を楽しむことにしました。温泉は広くて、静かだったから、リラックスできました。シャンプーや歯ブラシやバスローブなどもあって、とても便利だと思いました。

一番面白かったのは床にあるセンサーでした。このセンサーは寝ている間のデータを集めて、私のいびきや体の動きについて教えてくれました。自分のいびきがうるさいことに気づいて、少し恥ずかしかったです。そして、昨日の夜、20回ぐらい動いていたことが分かりました。レポートによると、他の人に比べて多いそうです。

カプセルホテルは安かったですが、部屋は狭いし、他の人の声やテレビの音が聞こえたので、よく眠れませんでした。だから、一泊以上は泊まれないと思います。でも、ユニークな体験をしたかったら、一度試すのはいいと思います。これでスピーチを終わります。ありがとうございました。

Question 2 (10 marks)

	Questions	Answers	Marks
a.	What was inside the room?	• ベッド	3
	^{^・®} 部屋の中に何がありましたか。	● タブレット	
		小さいテレビ	
b.	Why was Kate surprised? ケイトさんはどうしてびっくりしました	◆ へやにドアがなかったから	1
c.	Why was she able to relax at the hot spring?	広くて、(1 mark)しずかだったから (1 mark)	2
	どうして温泉でリラックスできましたか。	(1 mark)	
d.	What did Kate understand about	自分のいびきがうるさいこと	2
	herself from the sensor? ケイトさんはセンサーから自分につい て何が分かりましたか。	● きのうの夜、20回ぐらい動いたこと	
e.	According to Kate, what are the cons of capsule hotels?	 へやがせまくて、(1 mark)ほかの 人のこえとテレビのおとが聞こえる 	2
	ケイトさんによるとカプセルホテルの第 い点は何ですか。	から、よくねむれないこと (1 mark)	

SECTION 2 (Part A: Reading, listening and responding in English) TEXT 3B

A	今日は、大学の森先生に日本に住んでいる外国人についてインタビューをしたいと思
	います。よろしくお願いします。
В	はい、よろしくお願いします。
A	まず、日本に住んでいる外国人の人数は前と比べるとどうなっていますか。
В	はい、コロナの頃は日本に住む外国人の数が減ったのですが、今は毎年増えてい
	て、去年の年末には340万人以上になって、今までで一番多くの外国人が日本に
	住んでいます。

A	そうですか。外国人のみなさんはどのようなことをしていますか。
В	色々な理由で外国人の皆さんは日本に来て、住んでいます。 例えば、多くの外国人
	は「技能実習」というビザで来ています。日本で働きながら、色々な知識やスキルを
	学んで、それを自分たちの国に帰って使えるように頑張っています。しかし、日本語があまり分からない、住んでいる所のルールなどをよく知らない、ホームシックを感じるな
	と、色々大変だと思っている外国人が多くなっています。
A	そうなんですね。
В	はい。なので、これからはこのような色々な外国人の人たちをサポートし、住んでいる 所のコミュニティーの中でどのように生活できるかを、しっかり考えていかなくてはいけま せん。
A	*^ そうですね。森先生、今日はどうもありがとうございました。

Question 3 (20 marks)

	Questions	Answers	Marks
a.	Based on the reading text (Text 3A), why did this person come to Japan?	To learn about hotel management.	1
b.	List three tasks the person performs at the guest house.	 Managing reservations (in English). Managing checking-in and checking-out. Day trip tour guide. 	3
c.	According to the listening text (Text 3B), what is the main reason for foreigners to come to Japan?	 To use the new knowledge and skills in their home countries. To bring back new knowledge and skills to their home countries. 	2
d.	Based on the interview (Text 3B), list three challenges that foreigners in Japan face and what Mr Mori suggests should happen.	Challenges: Do not understand Japanese well. Do not know the rules of the places they live in. Homesickness. Suggestion: To provide various supports (1 mark) for foreigners to live in local communities (1 mark)	5
e.	What are the specific solutions related to addressing the above challenges?	 Japanese people and foreigners holding curry parties together. Holding easy Japanese classes. Communicating with other foreigners through social media. 	3
f.	What are the benefits of these	Learning manners and rules for	6

solutions?	living in Japan.
	Learning useful Japanese for
	working in hotels.
	 Feeling less lonely living in
	Japan.
	 Making many foreign friends
	who live outside Hakone
	through social media.
	 Making friends with Japanese
	people who use social media.
	Getting to know about various
	places in Japan other than
	Hakone.

SECTION 2 (Part B: Reading and responding in Japanese)
This is a sample response only. It is not an example of a high scoring response. It is for teachers to use with their students. Only kanji from the prescribed list in the Study Design has been used in this response.

			オ	ン	ラ	イ	ン	の	友	だ	ち								
			A		_	-1			\(\omega\)	/-	9								
	き	ょ	年	,	私	の	日	本	語	ク	ラ	ス	は	時	Þ	オ	ン	ラ	イ
ン	で	日	本	Ø	高	校	٤	٤	ð	ŋ	ф	う	を	し	た	0	私	は	日
本	に	旅	行	し	た	٤	٤	水	な	W	ッ	Ġ	,	日	本	の	۲	٤	を
ょ	<	知	る	た	め	に	`	オ	ン	ラ	イ	ン	の	۲	ð	ŋ	ф	ð	は
V	V١	٤	٤	だ	٤	思	う	0	で	ŧ	カュ	ん	た	ん	じ	Þ	な	V١	٤
٤	ŧ	あ	2	た	0														
	ま	ず	`	先	生	は	,	日	本	語	ク	ラ	ス	の	み	ん	な	が	_
人	す。	つ	日	本	の	高	校	生	٤	メ	_	ル	水	出	来	る	ょ	ò	に
l	て	<	れ	た	0	私	の	友	だ	ち	に	な	2	た	の	は	,	お	な
ľ	年	の	٤	ŧ	み	ż	ん	で	,	け	W	た	ŀ١	の	オ	ン	ラ	イ	ン
ゲ	_	Д	水	好	き	だ	0	た	o	私	f	好	き	だ	か	Ġ	,	日	本
ĸ	人	気	の	す	W	カュ	の	ゲ	_	Д	を	ŀ١	2	l	ļ	に	l	て	楽
l	カュ	2	た	0															
	で	f	`	私	た	ち	冰	夏	時	間	の	時	`	オ	_	ス	١	ラ	ij

校	の	し	つ	ŧ	ん	が	聞	Ĺ	え	な	<	な	つ	た	ŋ	し	た	0	
	L	の	よ	う	に	む	ず	カュ	し	い	Ĺ	と	が	た	<	さ	ん	あ	つ
た	け	ど	`	オ	ン	ラ	イ	ン	の	۲	う	ŋ	ゆ	う	は	日	本	の	رع
٤	を	よ	<	知	る	た	め	に	٤	て	ŧ	た	٧١	せ	つ	だ	٤	思	う

SECTION 3 (Writing in Japanese)

These are sample responses only. They are not examples of high scoring responses. They are for teachers to use with their students. Only kanji from the prescribed list in the Study Design has been used in these responses.

Question 5

															6	月	1	日	
	ま	W	さ	ん	^														
	۲	ん	に	ち	は	0	元	気	で	す	カュ	0	今	`	メ	ル	ボ	ル	ν
は	冬	な	の	で	`	٤	て	ъ	ŧ	む	W	で	す	0	日	本	は	ど	ò
で	す	Ŋ'n	0	ま	ŀ١	さ	ん	が	私	の	学	校	に	ŋ	ф	う	学	生	٤
l	て	来	る	٤	閉	き	ま	し	た	0	日	本	の	学	校	٤	色	Þ.	な
ち	水	ŀ١	が	あ	る	カュ	Ġ	,	手	紙	を	書	<	۲	と	に	l	ま	ı
た	0																		
	ま	す	,	校	そ	<	が	日	本	ほ	ど	き	び	l	<	な	V١	で	す
オ	_	ス	ト	ラ	IJ	ア	の	学	校	で	は	う	わ	ば	き	が	な	ķ١	か
Ġ	,	学	校	な	١,	を	外	の	<	つ	で	歩	き	回	0	て	ŧ	٧١	W
ん	で	す	0	そ	l	て	,	ピ	ア	ス	を	l	て	ŧ	V١	٧١	l	`	か
み	を	茶	色	や	金	ぱ	つ	に	そ	め	て	ę	M	W	l	`	カ	۲	IJ
ッ	ク	教	٤	だ	2	た	Ġ	,	+	字	カュ	の	ネ	ツ	ク	レ	ス	を	ı
て	ŧ	ŀ١	ŀ١	ん	で	す	0	で	ŧ	,	教	室	で	お	昼	č	は	ん	を
た	ベ	て	は	W	け	ま	世	ん	0	外	で	食	ベ	る	の	が	ķ	つ	ò
で	`	雨	の	日	だ	け	,	生	٤	は	教	室	で	食	ベ	ま	す	0	そ
れ	Ŋλ	Ġ	`	き	ф	う	食	は	な	W	カュ	Ġ	`	そ	ħ	Ŋ'n	Ġ	`	お
ベ	ん	٤	う	を	持	2	て	ŀ١	<	生	٤	ę	ŀ١	る	し	`	売	店	で
食	~	物	を	買	ò	生	٤	ŧ	ŀ١	ま	す	0							

	時	間	わ	ŋ	ŧ	ち	が	い	ま	す	0	日	本	と	ち	が	2	て	,
ホ	_	ム	ル	_	ム	は	じ	ゅ	ぎ	ょ	う	が	始	ま	る	前	に	あ	り
ま	す	0	そ	し	て	,	休	み	時	間	が	二	つ	あ	り	ま	す	0	
Γ	IJ	セ	ス	J	と	い	う	み	じ	カュ	い	休	み	が	朝	に	あ	つ	て
午	後	に	長	٧٧	昼	休	み	が	あ	ŋ	ま	す	0	そ	れ	に	,	ク	IJ
_	ナ	_	が	い	る	の	で	,	ほ	う	カュ	後	,	生	٤	は	そ	う	じ
を	し	な	<	て	ŧ	い	い	で	す	0	ఈ	活	動	ŧ	,	学	校	の	後
で	は	な	<	`	た	い	て	い	昼	休	み	の	間	に	あ	り	ま	す	0
	オ	_	ス	ト	ラ	IJ	ア	の	学	校	生	活	で	何	カュ	分	カュ	Ġ	な
い	IJ	٢	が	あ	2	た	ら	教	え	て	<	だ	さ	い	0	ま	い	さ	ん
が	来	る	の	を	楽	し	み	に	し	て	い	ま	す	0	^	ん	じ	を	待
2	て	い	ま	す	0														
														IJ	IJ	-	ょ	り	

Question 6

	け	ん	じ	君	^														
	久	l	š	ŋ	に	メ	-	ル	を	お	<	2	て	<	ħ	て	あ	ŋ	水
٤	う	0	ど	٤	で	パ	_	ト	Я	イ	Д	の	仕	事	を	l	た	V١	カュ
ŧ	う	き	め	た	カュ	な	0	私	の	住	ん	で	ŀ١	る	V١	な	カュ	の	町
に	け	ん	じ	君	から	来	て	<	れ	た	Ġ	私	は	す	ť	<	j	れ	し
い	な	0																	
	私	の	町	は	メ	ル	ボ	ル	ン	カュ	Ŝ	車	で	=	時	間	<	Ŝ	ŀ١
カュ	カュ	る	け	ど	,	ナ	シ	э	ナ	ル	パ	-	ク	や	,	き	れ	V١	な
海	办≤	近	<	に	あ	2	て		_	年	中	か	ん	٤	أ	き	や	<	が
来	る	カュ	Ġ	,	色	₽.	な	パ	_	ŀ	タ	イ	ム	の	仕	事	が	あ	る
ょ																			
	け	ん	ľ	君	は	英	語	t.	す	č	<	上	手	だ	し	,	人	٤	話
す	٤	٤	ŧ	٤	<	N	だ	か	ŝ		カ	フ	т	や	レ	Д	۱.	ラ	ン
で	<u>_</u>	仕	事	が	ぴ			b	だ	٠ ٤		ð	よ		私	o	町	に	は
	0)	11.	*	///*	0,	2	た	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	/-	_	思	2	4	0	14	0)	hal	1-	rah
日	本	人	の	カュ	ん	۲	う	き	や	<	ŧ	た	<	ŧ	ん	来	る	か	Ġ
日	本	語	冰	話	せ	る	け	ん	じ	君	は	ŀ١	W	仕	事	冰	す	<*	に
見	つ	Ŋλ	る	٤	思	ð	ょ	0											
	あ	٤	,	私	の	知	ŋ	合	ŀ١	の	カ	フ	工	の	オ	-	ナ	_	办名
来	年	カュ	Ġ	働	け	る	新	l	W	ス	Я	ツ	フ	を	ż	水	l	て	W
			_				L.									-73-			,
る	つ	て	言	2	て	た	ょ	0	そ	れ	で	`	け	ん	じ	君	の	۲	논

を	話	し	た	Ġ	`	ぜ	ひ	め	ん	せ	つ	を	し	た	い	2	て	o	ど
う	か	な	0	オ	_	ナ	_	は	す	ご	<	い	い	人	で		日	本	語
																			\vdash
の	勉	強	ъ	し	て	V١	る	カュ	Ġ	`	け	ん	じ	君	に	は	v	っ	た
ŋ	の	カ	フ	エ	だ	と	思	う	ょ	0									
	そ	れ	カュ	Ġ	,	け	ん	じ	君	は	ひ	ま	な	時	に	ょ	<	ハ	イ
キ	ン	グ	に	行	っ	た	ŋ	,	-	人	で	キ	ヤ	ン	プ	を	し	た	ŋ
		,	,		٠.					,	. 10		.,						
す	る	ょ	ね	0	私	の	町	に	来	れ	ば	`	仕	事	が	休	み	の	日
																			-
に	カュ	ん	た	ん	に	近	<	の	ナ	シ	3	ナ	ル	パ	_	ク	や	海	に
行	け	る	か	Ġ	`	私	の	町	は	け	ん	じ	君	が	住	む	の	に	₽.
,	0					2, 8	,		,	,		1.0	_	,	٦.		-1		
す	Ĭ	<	い	W	所	だ	논	思	う	ょ	0	ど	う	カュ	な	0	考	え	て
																			$\overline{}$
み	て	ね	0																
	じ	や	あ	来	年	け	ん	じ	君	に	숲	え	る	の	楽	し	み	に	し
て	る	ね	0																\Box
																カ	1		
\vdash																			Щ

Question 7

+	_	月	二	十	日	火	曜	日		は	れ	時	Þ	<	ŧ	ŋ			
今	日	で	日	本	に	留	学	l	に	来	て	六	カュ	月	目	!	l	ん	ľ
Ġ	ħ	な	٧١	0	長	٧١	ょ	ò	で	あ	2	٤	٧١	Ď	間	の	六	Ŋι	月
間	だ	2	た	0	色	ん	な	۲	٤	が	あ	0	た	な	あ	0			
_	番	む	₹°	か	l	カュ	2	た	の	は	,	友	だ	ち	の	日	本	語	だ
高	校	の	先	生	や	,	ホ	ス	ኑ	フ	ア	11	IJ	-	の	お	父	ż	ん
や	≉	母	ŧ	ん	の	日	本	語	は	`	ゅ	2	<	ŋ	だ	し	,	は	2
き	ŋ	闘	۲	え	る	か	Ġ	わ	か	ŋ	や	す	V١	0	で	ъ	,	友	達
水	み	ん	な	で	W	2	し	ļ	に	話	し	て	V١	る	٤	,	わ	カュ	る
言	ば	で	ŧ	,	す	ž	<	早	<	て	ぜ	ん	ぜ	ん	わ	か	ŝ	な	<
	,			,	ſ		`	·	`										
な	つ	て	い	た	۰	今	は	`	前	ょ	ŋ	ょ	<	わ	か	る	ょ	う	に
な	つ	た	気	が	す	る	カュ	Ġ	う	れ	し	ŀ١	0						
そ	ħ	か	Ġ	,	日	本	に	は	た	<	ŧ	ん	小	ż	W	ル	_	ル	がら
あ	る	٤	٤	を	知	2	た	0	学	校	で	ŧ	家	で	ŧ	,	<	つ	を
そ	ろ	え	た	ŋ	`	IJ	サ	イ	ク	ル	す	る	前	に	入	れ	物	を	洗
2	た	ŋ	,	1	_	ኑ	の	使	٧١	方	や	あ	V١	ż	つ	の	ル	_	ル
ŧ	た	<	ż	ん	あ	る	0	ż	V١	l	ļ	は	ょ	<	わ	カュ	Ġ	な	カュ
2	た	か	Ġ	٤	ま	2	た	け	ど	,	友	達	が	お	l	え	て	<	れ
た	か	Ġ	,	ŧ	j	む	ず	か	し	<	な	l)	0	本	当	に	色	Q.	な
٤	 ځ	が	上	手	に	な	2	た	٤	思	j								
_	_	ν.		,	,-	.4.		,_	_	100		0							Ш

に 日 本 来 て 番 ょ か た と は 日 本 人 の 友 0 ち ス W Þ ኑ 3 ケ イ ス ス だ け õ す ¢* た 6 屋 し ん は ь 0 カゝ 人 て で õ 生 け 勉 強 て た き に ż ん め V١ ŀ١ ゆ 奶 跗 ż た Γ ケ ż 何 て る ? イ ŀ ん ŀ١ の] だ だ 私 て ь な た ま ゎ ŋ を 見 れ ь V١ かゝ 0 カゝ づ 6 勉 強 を け た つ ۰ Γ ケ だ ち だ ょ イ ŀ ŧ ! 友 か Ġ メ ル ! ķ١ W け た 6 ļ ı 知 Ġ し łζ 出 カゝ V١ し W と な ŀ١ 0 ょ] ż が 言 た 0 だ で b れ b W な か た 弟 が ح な ŋ の ^ 0 屋 か Ġ Ż. を か け て ŀ١ た ٤ 思 た け Ľ 弟 Ø) à ľ ÷ な か た 0 0 Γ だ れ ? 跗 た J ځ V١ て み Γ だ そ 私 は ス ょ 1 の 時 ス ホ の がら め マ J 7 W 尨 メ セ ジ が 来 時 ょ Ď 明 < る の に る な ッ 0 た Γ け た で す ٢ 踻 た V٦ V١ か 私 は い て み] ٥ Γ そ ð だ ? ð ケ ょ 何 し て ŀ١ る Ø) ŝ イ ŀ つ

さ は 土 曜 夜 か ح 出 け る ょ W 日 の れ ね Ţ 0 Γ そ れ み مح う て は ひ で す ょ ! や て 知 つ つ 0 V١ W で す ľ は 家 族 b 友 だ ち b る かゝ J つ 0 ` ۲ が る を 知 ŋ 私 に か れ し ŀ١ ح ま せ ん 0 Γ 私 は ち だ ょ メ ス マ Þ ん ケ イ ŀ さ ん の ツ ジ セ を ぜ W نځ 見 て V١ る ょ J が め ん に わ Ġ 0 Γ て ŀ١ る え 文 字 が 出 た な る ほ ٧ 0 Ţ 0 ٥ Γ IJ ピ ン グ かゝ Ġ 母 が ょ W だ ケ イ ŀ だ れ 0 と ベ て る ? お そ は ゆ < ね な の ょ し g. V١ V١ 0 い J Γ ず ち な さ 私 は ス を 見 て し カュ に 7 G. ん V١ ! J ح 言 た ス 7 ち ゆ ん は ほ ほ え ん で つ ٥ ` Γ が は あ あ と 言 て た な に 入 た 母 J つ つ 0 ^ 屋 に 入 た 時 に 私 は ね て ŀ١ る ポ ズ を ح 0 た 0 ち は 中 カュ Ġ し ず わ 6 た ス 7 Ġ, W カュ に 0

DISCLAIMER

While every attempt has been made to provide suitable/common answers for the questions posed in this Practice Examination, errors and omissions remain the responsibility of the teachers using this material and the JLTAV will not be responsible for providing judgements on the appropriateness of answers provided by students using this material.

This Practice Examination is **NOT** endorsed by the VCAA

You are advised to familiarise yourself with previous examiners' reports that can be found on the VCAA website as well as utilise the examinations from previous years.

 $\underline{https://www.vcaa.vic.edu.au/curriculum/vce/vce-study-designs/japanesesecondlanguage/Pages/\underline{Index.aspx}$

For further information on the services of the JLTAV please consult our website:

http://www.jltav.org.au/

© JLTAV 2024